

# 財務諸表に対する注記

(社会福祉法人玉山秀峰会)

## 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

## 2. 重要な会計方針

### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。所有した時は下記の方法にて評価する。

- ・満期保有目的の債権等一償却原価法（定額法）
- ・上記以外の有価証券で時価のあるもの一決算日の市場価格に基づく時価法

### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物、構築物、車輛運搬具、器具備品、ソフトウェアは定額法によっている。
- ・リース資産一契約額が一契約300万以下であるため、リース資産に計上していない。計上した場合は次の方法にて償却することとしている。

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

### (3) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金一社会福祉法人岩手県社会福祉協議会民間社会福祉事業職員共済事業に基づく、掛金事業主負担分を計上している。
- ・賞与引当金一該当なし。

### (4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の税込金額を記載している。

### (5) リース取引の会計処理

一契約あたり300万円以下のリース取引は、リース資産の計上せず、賃貸借の会計処理を行っている。

## 3. 重要な会計方針の変更

該当なし。

## 4. 法人で採用する退職給付制度

- ・独立行政法人福祉医療機構社会福祉施設職員等退職共済制度に全常勤職員が加入している。
- ・社会福祉法人岩手県社会福祉協議会民間社会福祉事業職員共済事業に正規職員が加入している。

## 5. 法人が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する財務諸表は以下のとおりになっている。

### (1) 法人全体の財務諸表(第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式)

### (2) 事業区分別内訳表(第1号の2様式、第2号の2様式、第3号の2様式)

当法人では社会福祉事業のみ実施しているため作成していない。

### (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式)

当法人では社会福祉事業のみ一拠点だけで実施しているため作成していない。

### (4) 収益事業における拠点区分別内訳表(第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式)

当法人では収益事業を実施していないため作成していない。

(5) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

秀峰苑拠点区分（社会福祉事業）

- 「玉山秀峰会本部」
- 「特別養護老人ホーム秀峰苑」
- 「秀峰苑短期入所生活介護事業所」
- 「秀峰苑デイサービスセンター」
- 「生きがい活動通所事業」
- 「秀峰苑介護支援センター」
- 「秀峰苑居宅介護支援事業所」

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	17,373,600	0	0	17,373,600
建物	172,052,470	0	12,745,804	159,306,666
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
投資有価証券				
合 計	192,426,070	0	12,745,804	179,680,266

7. 会計基準第3章第4（4）及び（6）の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

該当なし

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物(基本財産)	515,302,970	355,996,304	159,306,666
建物	4,047,710	2,763,574	1,284,136
構築物	11,266,500	8,760,456	2,506,044
車輛運搬具	30,650,340	27,227,618	3,422,722
器具備品	68,154,947	47,700,268	20,454,679
ソフトウェア	1,549,940	869,974	679,966
合 計	630,972,407	443,318,194	187,654,213

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の 当期末残高
事業未収金	48,231,579	0	48,231,579
合 計	48,231,579	0	48,231,579

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし

12. 関連当事者との取引の内容  
該当なし

13. 重要な偶発債務  
該当なし

14. 重要な後発事象  
該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び  
純資産の状態を明らかにするために必要な事項

- ・将来の建物建て替え、施設整備に備え、純資産に施設整備積立金450,000,000円を計上している。  
それに対応し、固定資産に施設整備積立資産として450,000,000円を定期預金で積み立てている。